

記入上の注意事項

項目	注意事項
受験資格	民間企業等における2年以上の職務経験が必要です。
職務経験	民間企業等における職務経験は、会社員、団体職員、公務員、自営業者等で常勤の職員(※)として就業した期間を通算して計算します。 ※常勤の職員とは、フルタイムの正規職員又は当該事業所におけるフルタイムの正規職員と過当たりの勤務時間が同じ勤務形態で就業している職員のことをいいます。 職務経験が複数の場合は通算することができます。 常勤の職員に該当するか否かに関わらず、職務経験はすべて記入してください(無職の期間や大学等に在学中のアルバイトは記入不要です)。なお、職務経歴書の雇用形態欄に正規以外で☑した場合は、⑤担当した職務内容・役職、⑥休暇・休業・休職等の期間、⑦理由、⑧受験資格の職務期間は記入不要です。
職務経験の期間	職務経験は月単位で算定します。 期間の考え方は次のとおりです。 ○就職した日(起算日)の翌月同日の「前日」をもって「1か月」と数えます。 ※翌月同日に当たる日が存在しない(6月31日、2月30日など)場合は、その翌日 (例1) 3月1日に就職 3月31日(4月1日の前日)で1か月 4月30日(5月1日の前日)で2か月 8月31日(9月1日の前日)で6か月 2月28日(3月1日の前日)で1年(うるう年の場合は2月29日で1年) (例2) 3月16日に就職 4月15日(4月16日の前日)で1か月 5月15日(5月16日の前日)で2か月 9月15日(9月16日の前日)で6か月 3月15日(3月16日の前日)で1年 (例3) 5月31日に就職 6月30日(6月31日が無いので、その翌日である7月1日の前日)で1か月 7月30日(7月31日の前日)で2か月 11月30日(11月31日が無いので、その翌日である12月1日の前日)で6か月 5月30日(5月31日の前日)で1年
休暇・休業・休職等	休暇・休業・休職等のため、連続して1か月を超えて職務に従事していない期間(産前産後休暇を除く。)は、受験資格に関連する職務経験に通算できません。 該当する期間がある場合は、⑥休暇・休業・休職等の期間に記入してください。 なお、期間の考え方は、職務経験と同様です。 (例)A社 正規職員として在職期間 R4年4月1日～R6年3月31日(2年0か月) うち、R5年2月20日～R6年3月10日まで育児休業 →R5年2月20日～R6年2月19日までの1年0か月が育児休業の期間となります。 このため、在職期間2年0か月から1年0か月を除いた、1年0か月がA社での受験資格に該当する職務経験期間となります。

記入例

職 務 経 歴 書

試験の種類	試験区分	受験番号 (記入不要)	ふりがな		年齢 (申込時)
	キャリア チェンジ		氏 名		歳

警察官Aまたは警察官Bを選択する

【最終学歴】

種類	☐ 中学 ☐ 高校 ☐ 高専 ☐ 短大 ☒ 大学 ☐ 大学院 ☐ 専門学校等
期間	H 26 年 4 月 ~ H 30 年 3 月 まで ← 元号は平成Hまたは令和Rを選択する
学部・学科 (学校名は記入しない)	〇〇学部〇〇学科
区分	☒ 卒業 ☐ 卒業見込 ☐ 中退 ☐ その他

⑧受験資格の職務期間の合計期間を記入する

【職務経歴】

職務経歴通算 (⑧の計)	5 年 2 か月	※民間企業等における2年以上の職務経歴が必要
-----------------	----------	------------------------

※受験資格に該当するか否かを問わず、職務経歴はすべて記入してください(無職の期間は記入不要)

■現在または直前の 勤務先	①名称	(株)〇〇	②所在地都道府県	〇〇県
③雇用形態	☒ 正規 ☐ 正規以外で勤務時間が正規職員と同じ ☐ 正規以外			
④在職期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 8 年 7 月 20 日	4 年 3 か月		
⑤担当した職務内容・役職	〇〇長として、〇〇の業務に従事 育児休業や病気休暇等で連続して1か月以上勤務しなかった期間、理由を記入する			
⑥在職期間のうち、休暇・休業・休職等の期間	R 5 年 5 月 10 日 ~ R 5 年 6 月 30 日	0 年 1 か月	⑦理由 育児休業	
⑧受験資格の職務期間	4 年 2 か月	※④在職期間から⑥休暇・休業・休職等の期間を除いた期間		

■その前の勤務先	①名称	(株)□□	②所在地都道府県	□□県
③雇用形態	☐ 正規 ☐ 正規以外で勤務時間が正規職員と同じ ☒ 正規以外			
④在職期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	3 年 0 か月		
⑤担当した職務内容・役職	正規以外の場合は、受験資格に該当しないため、⑤~⑧は記入不要			
⑥在職期間のうち、休暇・休業・休職等の期間	年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	⑦理由	
⑧受験資格の職務期間	年 月 日	年 月 日	※④在職期間から⑥休暇・休業・休職等の期間を除いた期間	

【職務経歴】

■その前の勤務先	①名称	△△(株)	②所在地都道府県	△△府
③雇用形態	☐ 正規 ☒ 正規以外で勤務時間が正規職員と同じ ☐ 正規以外			
④在職期間	H 30 年 4 月 1 日 ～ H 31 年 3 月 31 日		1 年 0 か月	
⑤担当した職務内容・役職	担当者として、〇〇に従事			
⑥在職期間のうち、休暇・休業・休職等の期間	年 月 日 ～	年 月 日	年 月 日	⑦理由
⑧受験資格の職務期間	1 年 0 か月	※④在職期間から⑥休暇・休業・休職等の期間を除いた期間		

■その前の勤務先	①名称		②所在地都道府県	
③雇用形態	☐ 正規 ☐ 正規以外で勤務時間が正規職員と同じ ☐ 正規以外			
④在職期間	年 月 日 ～		年 月 日	年 月 日
⑤担当した職務内容・役職				
⑥在職期間のうち、休暇・休業・休職等の期間	年 月 日 ～	年 月 日	年 月 日	⑦理由
⑧受験資格の職務期間	年 月 日	※④在職期間から⑥休暇・休業・休職等の期間を除いた期間		

■その前の勤務先	①名称		②所在地都道府県	
③雇用形態	☐ 正規 ☐ 正規以外で勤務時間が正規職員と同じ ☐ 正規以外			
④在職期間	年 月 日 ～		年 月 日	年 月 日
⑤担当した職務内容・役職				
⑥在職期間のうち、休暇・休業・休職等の期間	年 月 日 ～	年 月 日	年 月 日	⑦理由
⑧受験資格の職務期間	年 月 日	※④在職期間から⑥休暇・休業・休職等の期間を除いた期間		

※職歴について、勤務先の証明は不要ですが、記載内容に虚偽がないようにしてください。

※職務経歴書は、受験資格の確認の他、第2次試験においても使用します。

※フォント、行の高さ、列の幅は変更しないでください。

※記入欄が足りない場合は、続紙(様式第2 その2-3)に記入してください。

【参考】Q&A

No	Q	A
1	受験資格である、民間企業等における職務経験とは何ですか。	会社員、公務員、自営業者等で常勤の職員(※)として就業していたことをいいます。 (※)常勤の職員とは、フルタイムの正規職員又は当該事業所におけるフルタイムの正規職員と過当たりの勤務時間が同じ勤務形態で就業している職員のことをいいます。
2	職務経歴書には、これまでのすべての職務経験を記入するのですか。	常勤の職員に該当するか否かに関わらず、職務経験はすべて記入してください(無職の期間や大学等に在学中のアルバイトは記入不要です)。
3	現在、在職中の場合、職務経歴書の在職期間の終期はどのように記入するのですか。	在職期間の終期は、受験申込日時点の日付を記入してください。
4	派遣社員ですが、同じ派遣元から6か月ごとに別の会社に派遣され、どちらの事業所においても常勤で勤務していました。この場合、職務経歴書はどのように記載すればよいですか。	派遣社員で、フルタイムの常勤職員と過当たりの勤務時間が同じ場合は、「正規以外で勤務時間が正規と同じ」に囚してください。なお、派遣先が異なる場合は、それぞれ6か月ごとの別の職務経験として記入してください。
5	雇用契約の更新を繰り返す契約社員ですが、職務経歴書はそれぞれの雇用契約ごとに記入するのですか。	更新の前後で次の①～③をすべて満たす場合は、更新前の期間と更新後の期間を一つの職務経験として記入してください。 ①雇用契約の更新前と更新後で、勤務する事業所(実際の勤務先)に変更がない。 ②雇用契約の更新前と更新後で、職務内容に変更がない。 ③更新前の在職期間の最終日と更新後の在職期間の初日との間に1日も空白期間がない。
6	パートタイマーやアルバイト等の期間についても、職務経験として通算することができますか。	一般的には、パートタイマーやアルバイトと呼ばれる雇用形態はフルタイムの正規社員よりも所定労働時間が短く「常勤」に該当しないため、職務経験として通算できません。ただし、雇用形態の名称を問わず、当該事業所におけるフルタイムの正規社員と過当たりの勤務時間が同じ勤務形態であれば、職務経験に通算することができます。
7	自営業等の期間についても、職務経験として通算することができますか。	自営業等の期間についても職務経験として通算できます。なお、最終合格後、職歴証明書の代替として、事業を営んでいたことを証明できる書類(納税証明書や青色申告書等)を提出していただきます。
8	採用の時期は、令和9年4月1日でしょうか。	原則として、令和9年4月1日の採用です。採用が決定した人は、巡査に任命され、警察学校に入校し、所定の初任教養を受けた後、勤務地に配置されます。
9	「キャリアチェンジ」と他の試験区分で処遇等は異なりますか。	試験種目は異なりますが、採用後の処遇等に差異はありません。